

# TEGOネットだより浜田

## はじめに

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年5月8日 第24号  
浜田市農林業支援センター

水稲をはじめとする農作業のスタート時期となりました。昨年は台風の上陸もなく穏便な一年でしたが、今年になり度々の暴風による被害が発生しております。気象情報を的確に把握し、無理のない計画と安全な作業、そして健康第一で今年も頑張りましょう。（浜田市農林業支援センター長 齋藤 實）

## 1. 各支援チームからの話題

### 新規就農支援チーム（担当：前原・塚本）

金城農業青年クラブ「ACスマイル」の定期総会が4月23日にJA本所ふれあいホールで開催されました。

冒頭、新会員3名の加入が報告されました。1名は金城町出身ですが、2名はそれぞれ田橋町と弥栄町で就農されており、初めて金城町以外のメンバーが誕生しました。会員総数が14名となった今年度は海外研修を計画するなど、その活動はますます広がりを見せています。

議案承認後の意見交換会では、来賓として出席された西部農林振興センターの原田部長や当支援センターの齋藤センター長から、「新しい発想を生み出すためにも営農類型や業種の異なる人との交流を大切にしてもらいたい」とのアドバイスがありました。

## ACスマイル定期総会



佐々原洋道会長のあいさつ

### 認定農業者支援チーム（担当：松井・前原）

4月29日に溝口県知事が、金城町でいちごとピオーネの観光農園を経営する認定農業者（農外参入企業）有限会社KKNを訪問されました。

知事との懇談の中で、同社の倉本給都社長は、「農作業や収穫体験を通じた観光事業で地域を盛り上げたいという理念を実現するため、県の農業改良普及員を中心に技術面や経営面の指導を受けてきた成果が実りつつある」と説明されました。

地元の生産者と連携しながら各種加工事業にも取り組むKKNが今後ますます発展され、浜田の農業を盛り上げてくださることを期待しています。

（いちこの観光農園は5月末まで営業される予定です）

## 県知事が(有)KKNを訪問



いちごを味わう溝口知事と倉本社長(左)

### 集落営農組織支援チーム（担当：森井・岡本）

水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）は平成20年度から、「市町村特認制度」の創設により経営規模に関係なく認定農業者や集落営農組織も加入できるようになりました。この対策には、以下3つの交付金があります。

#### 【収入減少緩和補てん交付金】・・・米・麦・大豆

過去5年のうち、最高年と最低年を除く3年間の平均収入と比較し、当年に減収した分を補てんする交付金

#### 【麦・大豆直接支払交付金】・・・麦・大豆

【固定払】平成16年～18年度の3カ年の生産実績に応じて固定的に支払われる交付金

【成績払】当年に収穫した麦・大豆の実績や品質などに応じて支払われる交付金

集落営農組織の場合、共同販売経理を行うことや、農用地の集積目標面積を定めることなどの要件がありますが、手続きが簡素化され提出書類は削減されています。市町村特認制度による加入申込は5月末締切となっています。当支援センターでは加入にあたっての要件の整理、申請書作成などのお手伝いをしますので、まずはお問い合わせください。

## 水田経営所得安定対策に加入しませんか

## 2. 知事公聴会「どこでもふれあい懇談会」が浜田で開催されました

本誌のオモテ面で、島根県知事が(有)KKNを訪問されたニュースを掲載しましたが、これは知事と県民が直接懇談する「どこでもふれあい懇談会」として行われたものです。

知事は4月28日に、JA産直「きんさい市場黒川店」を視察。JAの山縣組合長の案内で店内を巡り、「このような生産者の顔が見える店が増えているのは良いこと」と話されました。



また、翌29日には、金城町で地域コミュニティ再生に取り組む「縁(えにし)の里づくり委員会」を代表する5名の皆さんと意見交換。地域の産業実態、地域住民の年齢構成、そして農地の保全対策など、当面する課題をテーマに、知事の考えや現在県が実施中の事業について説明されました。わずか40分間という短い時間でしたが、最後には地元の方約80名と記念撮影を行い、和やかなうちに金城町波佐の地を後にされました。

## 3. 環境農業実践セミナー【～2009小祝塾in浜田～】について



4月19日、浜田市弥栄町の弥栄会館にて、第1回目となる環境農業実践セミナーを開催しました。当日は生産者、関係者を含めて29名の参加があり、(株)ジャパンバイオフィーム 小祝政明氏を講師に、土壌分析による理論とデータに基づく有機農業の手法について学びました。小祝氏は、消費者が求める安全で美味しい作物を作るためにはまず植物の生育の仕組みを理解することが大切とし、丈夫な根の育成や肥料成分などの働きを化学的に解説されました。



このセミナーは今後もシリーズで開催し、次回は6月23日(火)に同じ会場(弥栄会館)で開催する予定です。2回目からの参加も可能ですので奮ってご参加ください。

お問い合わせや参加申込は、西部農林振興センター(0855-29-5618)または浜田市農林業支援センター(0855-22-3500)までお願いします。

## 4. 遊休農機具あつ旋コーナー〔千歯扱きを譲ってください〕



昔ながらの「千歯扱き」を探している方がいらっしゃいます。譲っても良いという方は、支援センターにご連絡ください。相手の方に取り次ぎます。(値段などについてはご本人同士で話し合って決めていただきます。)

不用になった農機具の有効利用を図ることは、売り手と買い手の双方にメリットがあります。遊休農機具情報は随時募集していますので、他人に譲っても良い物があればお知らせください。

(注：左の千歯扱きのイラストはイメージです。形が違っていても構いません。)

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp